

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	地域おこし協力隊
氏名	高久博子
着任日	令和2年2月1日

活動月	令和2年11月（着任：10ヶ月）
主な活動	1. Facebook および記録用写真撮影・記事作成・投稿 2. 地域訪問 3. 知覧お茶を飲む会

1. Facebook および記録用写真撮影・記事作成・投稿

今月は先月に引き続き、外部行事（学校でのお茶授業）が多く開催された。小学校の茶育授業では、松山小学校のお茶博士授業に参加させていただいた。2週にわたり開催され、3年生と4年生の授業を拝見した。3年生は一年間のお茶畑の仕事と茶園機械の種類について、4年生は、お茶の種類、品種、産地、成分、効能など基本なお茶の知識を学ぶ授業が行われた。茶農家の家庭のお子さんなど、お茶に親しんでいる子どもたちなので、他の地域の小学生ではなかなかできないような質問も活発に行われ、知覧茶の特色について大変勉強になる授業を聞かせていただいた。また小学生に興味をもって、2時間話を聞いてもらうために、お茶むらいの動画、仮面ライダーやちびまる子ちゃんなど、いろいろな話題を盛り込み、クイズ形式で話を進めるなど、工夫されていることも、勉強させていただいた。



地域おこし協力隊活動報告書



次に、普通煎茶部門、産地部門で第一位となった全国茶品評会の授賞式、およびお茶いっぱいの日に開催したオンラインイベント、知覧茶マルシェの写真撮影を行った。

授賞式では、全国から他産地の受賞者の方々も訪れ、その中で優勝された栢川製茶さんと南九州市の受賞を間近で拝見し、その重みを感じることができた。栢川さんの喜びあふれた誇らしい笑顔が印象的であった。優勝されたお茶をいただく機会があり、その深い味わいには大変驚いた。改めて少しでも多くの方に、このおいしいお茶を飲んでいただきたいと感じた。



またオンラインイベント、知覧茶マルシェに、スタッフのひとりとして参加した。画面でお茶のおいしさを伝えることは難しいことではあるが、今後はこのような方法で、お茶について消費者に魅力を伝え、販売もしていく必要があるかもしれないと感じる。いくつかの場所からの中継で、企画、運営スタッフは大変であったと思うが、生産者の皆さんも多く参加することができ、このイベントの意味は大きかったと思う。

地域おこし協力隊活動報告書



2. 地域訪問

今月は、知覧の英国館さんの駐車場スペースで毎月第4日曜、7時30分～9時30分に行われている、まちおこし朝市を訪問した。さくら知覧園さんが、お茶を販売され、その他新鮮な野菜や食品、スイーツ、アクセサリなど、地域の特産品がお手頃価格で販売されていて、自分用にもプチギフト用にもよいと思う。道路をへだてて駐車場もあり、場所もきれいである。生産者と直接ふれあえる楽しさがあり、地元の方だけでなく、市外の方にもおすすめしたい。



3. 知覧お茶を飲む会

先月に引き続き、自宅縁側で、お茶（知覧茶）を飲む会を催した。今回は、ブレンドの知覧茶 2 種と単一品種茶 2 種のお茶の飲み比べを行った。ブレンドは、川辺地区で栽培されている、わらかけ茶と雪丸地区で栽培されている浅蒸し茶。どちらもかぶせを行ってつくられているが、わらかけも、浅蒸しも、濃厚な深蒸し茶と違い、かぶせの味が柔らかく、飲みやすく、でも味もしっかりしている。単一品種は、あさつゆと、はるもえぎ。知覧茶はゆたかみどり、さえみどり、やぶきたが多いと思うが、あさつゆ、はるもえぎも、ブレンドに使われている。単一品種のみでも特徴のある味わいが楽しめる。深い緑の深蒸し知覧茶とともに、特徴のある知覧茶を知り、同じ知覧茶として販売されているお茶であるが、前回同様、それぞれの美味しさを参加者とともに体験した。



さて、今月が活動 10 ヶ月目であるが、最後の活動月となった。お読みいただいた皆様、お世話になった皆様、本当にありがとうございました。思いがけずコロナウィルスという大変な年とぶつかり、お茶まつりも中止となり、予定外のことばかりであったが、私自身は南九州市で多くのことを学び、知覧茶についてより深く理解する機会をいただいた。車の運転が不慣れだったことなどもあり、生産者の皆さんと接する機会をなかなかつくれなかったことが、一番残念であった。お茶を通じて地域に貢献する目的が達成することができなかったが、今後南九州市を離れた場所から、少しでも知覧茶の魅力を伝えられることができることがあれば、幸いである。

もしどこかでお目にかかる機会があれば、ぜひお声をおかけください。

南九州市皆様のご健康とご活躍、知覧茶の発展をお祈りいたします。ありがとうございました。